

渡辺淳一文学館朗読講師と嵯峨治彦氏による朗読会
(馬頭琴、喉歌奏者)

春 夏 秋 頭

しゅん か しゅう とう



頭 モンゴル+岩手
朗読 栗山 博
馬頭琴 嵯峨 治彦

宮澤 賢治作
「どんぐりと山猫」

馬頭琴、喉歌ソロ演奏
「エービ川の流れ」
(作曲：ドプチン)

夏 京都
朗読 関口 淳子

長谷雄草紙
「朱雀門
の鬼」

【会場・主催・予約】

渡辺淳一文学館

札幌市中央区南12条西6丁目414

TEL:011-551-1282

2023.6.18SUN

開演 14:00 (開場13:30)

入場料 2,500円

春 兵庫
朗読 鈴木 瑠以子

宮本 輝 作

「夜桜」

秋 越前
朗読 宮下 郁子

水上 勉 作

「越前竹人形」

こころの旅
しましま

出演者プロフィール

こころの旅しましよ



Photo 荒井純一

ゲスト 嵯峨治彦（さがはるひこ）馬頭琴、喉歌

師と仰ぐゴビの遊牧民馬頭琴奏者Y.ネルグイ(モンゴル国無形文化財)から後継指名を受け伝統音楽の継承に取り組む一方、RAUMA(w/あらひろこ[カンテレ])タルバガン(w/等々力政彦[トゥバ音楽])、野花南(w/嵯峨孝子)などの音楽ユニットで活動。渡辺淳一文学館ドラマティックライブ「駱駝の瘤にまたがって/木村功[朗読]」への出演や、朗読・演劇・舞踏など異ジャンルとの共演も多い。2017年大瀧詠一カバーアルバム「NOMADIC VACATION」を井上鑑プロデュースでリリース。

【馬頭琴】 モンゴルの伝統楽器。馬の尾を束ねた2本の弦を弓で弾く「草原のチェロ」。馬頭琴誕生の伝説は絵本「スーホの白い馬」で日本でも広く知られている。

【喉歌】 モンゴルの「ホーミー」やトゥバ共和国の「フーメイ」など、声の倍音を口腔内で共鳴させて同時に複数の音を発する歌唱法。一人二重唱、倍音唱法とも。

渡辺淳一文学館朗読講師



名作を朗読しましょう 講師 宮下郁子

札幌、道内各地の他、京都平等院東本願寺、清涼寺、東福寺、金剛能楽堂カナダバンクーバー、東京矢来能楽堂等で朗読出演。古典の日推進委員会朗読コンテスト大賞、同京都府知事賞等受賞。元札幌医科大学保健医療学部特別講師。2014年渡辺淳一文学館朗読講座「ろうどく紀行」第1期～第3期講師。2021年より渡辺淳一文学館主催朗読講座「名作を朗読しましょう」講師。



ろうどく紀行 第4期講師 関口 淳子

2008年、ドラマチック・リーディング・グループ「蔵」結成。同代表。「源氏」千年紀を記念して「女人源氏物語」朗読会開催。2009年～「ろうどくの小径」(札幌市中央図書館)定期開催開始。2011年～チャリティー朗読会「連声」を以後毎年開催。朗読会「花咲」(渡辺淳一文学館主催)にレギュラー出演(～2019年)。「北の響」(北海道立文学館主催)継続出演開始。2014年～ミステリー朗読会「鍵」公演開始。2017年秋、北の聲アート特別賞<ハルニレ賞>(文化塾サッポロ・アートラボSALA主催)受賞。



みんなの朗読 講師 栗山 博

元公立高等学校国語科教師。市立図書館・道立文学館などの朗読イベントの他、地域FMラジオ朗読などに出演。現在、私立とわの森三愛高等学校にて非常勤講師。ドラマチック・リーディング・グループ「蔵」、なかま「鍵」、ドラマチック・リーディング・グループ〈さ・く・ら〉所属。2022年11月より、朗読会「あしたのためのglobe座」を主催。2022年より渡辺淳一文学館主催朗読講座「みんなの朗読」講師。



ろうどく紀行 第5期～講師 鈴木 瑠以子

2008年、ドラマチック・リーディング・グループ「蔵」に参加。渡辺淳一文学館朗読講座「ろうどく紀行」講師を歴任し、現在第16期講師。2014年秋より渡辺淳一作品を教材に「蔵」会員が講師陣となり朗読講座を開講してきた。2017年秋、北の聲アート特別賞<ハルニレ賞>(文化塾サッポロ・アートラボSALA主催)受賞。



【主催】 渡辺淳一文学館 【後援】 札幌市・札幌市教育委員会

駐車場のご用意はございません。公共の交通機関が近隣の駐車場をご利用ください。